

新型コロナウイルス感染者の発生について

1 概要

8月7日（金）、国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町）の職員（男性・三十代）が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

当該職員は、現在療養中です。

2 経緯

8月2日（日）喉の痛みと発熱等を発症

8月7日（金）病院で抗原検査を受検し陽性が判明

3 職員の従事状況等

当該職員は、国立国会図書館東京本館の内部事務に従事しており、来館利用者及び国会関係者との接触はありません。当該職員の最終出勤日は7月31日（金）です。

4 今後の対応

国立国会図書館では、職員の感染が判明したことを受け、保健所の指導の下、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び職員の健康保持の観点から、次の対応を行います。

- 当該職員と席が近い職員は、既に自宅待機と健康観察の対象としましたが、感染者の最終出勤日から2週間が経過するまで当該措置を継続します。
- 保健所が行う濃厚接触者の特定に協力します。

● 本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）